



CONTENTS.....

特集 おむつからの軟便モレ! 解決へのアプローチ

Interview 神山剛一先生に聞く、下剤と軟便の関係

アプローチ① 便性状のコントロール

アプローチ② 軟便をモラさない設計のおむつ

おむつからの軟便モレ! 解決へのアプローチ

高齢者の介護において切実な問題となっている排便障害。特に、長期にわたり便秘に悩まされている方は少なくありません。便秘になると、日常的に下剤を使って排便コントロールをするケースがよく見受けられますが、過剰な下剤の使用によって、絶えず下痢状の便が出ている状態は決して望ましいことではありません。では、介護の現場において、どのようなアプローチが必要になるのか、大腸・肛門の専門医神山剛一先生に教えていただきました。



医療法人社団 俊和会
寺田病院
排便機能専門医

神山 剛一先生

1992年昭和大学医学部卒業後、英国St. Mark's Hospital、昭和大学消化器一般外科、亀田総合病院等を経て、寺田病院外科・胃腸科・肛門科医師、同日暮里健診プラザ予防医学管理センター副センター長。監修書に『うんトレ』（方丈社）がある。

Interview

軟便につながる 「見かけ上の便秘」への下剤使用

便が出ない＝便秘ではありません。高齢者は、持病やADLの低下により、食事が少なかったり、便の材料となる食物繊維や発酵食品の摂取が不足しがちです。このため、一定量の便がたまるまで時間がかかり、何日も便が出ない状態が続いてしまいます。ただしそれは「見かけ上の便秘」で、十分便がたまっているのに出ない「真の便秘」とは異なります。この見かけ上の便秘と真の便秘の区別がつかないため、「3日排便がなかったら下剤を使う」といった、画一的な排便管理になってしまうのです。便がたまっていないのに刺激性下剤を用いれば、下痢状の便が出たり、不要な便失禁を生じ、ご本人や介護スタッフの負担が大きくなります。

下剤を使用したらブリストルスケールで 便性状をチェックする

そこで私は、下剤を用いた場合、ブリストルスケール（次頁参照）で便性状をチェックして、薬の効果を判断することを推奨しています。出たか出ないか、量が多いか少ないかで判断するだけでなく、「その便がどのような状態で、どれくらい時間をかけて排泄されたか」を振り返ることが必要なのです。

便は消化管の通過時間によって、性状が変化します。短時間で通過すると軟便に、時間がかかると硬い便になります。多くの下剤は便の通過時間を早めます。タイプ6や7の

泥状便や水様便であれば、非常に短時間で排泄されたことになり、下剤投与のタイミングが早すぎたと考えられます。その場合、まとまった便がたまっていなかった可能性も高く、投与間隔を空けたり、食物繊維の摂取量を増やすのも選択肢のひとつです。

一方、タイプ4に近いちょうどいい硬さの便が出たときは、下剤の量・タイミングが適切だと判断できます。3日以上排便がなく心配だからと下剤を使うのではなく、ブリストルスケールで下剤の効果を見極めてほしいと思います。

ただし、便秘ケアの方法は人それぞれ。直腸性の便秘では、摘便や浣腸が有効であり、どこにたまっているのかを診断し、適した処方を選びます。

多職種が力を合わせて 一人ひとりの排便に寄り添うアプローチを

日常生活では、便の材料となる食物繊維をなるべく多く摂ってもらう、ベッド上でもできる筋力維持の運動やマッサージを行うなど、好反応が得られることを見つけて継続することが重要です。寝ているよりも座った姿勢のほうがいきみやすく、排便しやすいため、排便リズムを見ながら、トイレに誘導し、座位姿勢をとることもトライしてみてください。いずれにしても、ブリストルスケールを用いた排便日誌などを有効活用しながら、高齢者の千差万別な排便に向き合い、試行錯誤を繰り返すことが何より大切です。どんなアプローチが最適か、関わる職種の皆さん全員が知恵を絞り、高齢者お一人おひとりのQOL向上を目指しましょう。

軟便モレ解決のアプローチ①「便性状のコントロール」

Point1 「ブリストルスケール」「排便日誌」をフル活用!

ブリストルスケールにもとづき「ちょうどいい硬さの便」を目指して、下剤投与の量やタイミングを調整します。

排便日誌は便秘ケアに欠かせない重要な記録であり、多職種連携の礎となります。

ブリストルスケールと排便日誌をしっかり活用して、便性状を把握。医療と介護のスタッフが情報共有を図ります。

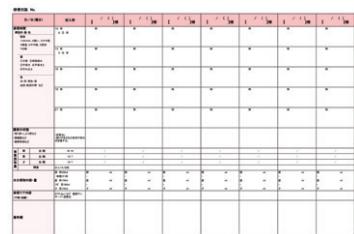
便性状のチェックに欠かせない 「ブリストルスケール」

英国ブリストル大学のHeaton博士が提唱し、現在国際的に使われている便性状を計るものさし。便の形状と硬さを7段階に分類しています。



多職種連携を促すツール 「排便日誌」

排便日誌は、排便ケアの“共通言語”ともいえるツール。下剤の種類や飲んだ日時、量、時間、便量、色、ブリストルスケールの1～7、さらに、食事の内容や量、腹部の状態（張りやしぶりがある）などの情報を記して、チーム全体で共有します。



「排便日誌」のサンプル
ダウンロードはこちら



Point2 専門スキルを活かした「多職種」のチームワーク!

「排便日誌」の情報をチームで共有し、便秘ケアの見直しを行います。

医介のスタッフが、互いの専門知識とスキルを持ち寄り、チームの一員として力を発揮。

全員で試行錯誤を繰り返し、お一人おひとりに適切な便秘ケアを目指しましょう。

決まった間隔で下剤を投与するのではなく、投与後の便性状をチェックして、その投与が適切であったかどうか判断します。



医師



看護師

便秘ケアのイニシアチブをとります。便がどこにたまっているのかを見て浣腸や摘便をアレンジするなど、その人にあったアプローチを実践します。



介護職

ブリストルスケールを用いて排便日誌を記録します。どんなアプローチが最も適切か、カンファレンスなどで検討した上でサービスを提供します。



リハビリ専門職

チームで、最適な便秘ケアを実現!

タイプ6か7の便が出ているのなら、下剤が効きすぎている可能性も。投与量を減らすか、タイミングを変えるか、アドバイスをします。新薬の情報収集も。



薬剤師

便の材料不足を補うため、カロリー、電解質、水分量、食物繊維や発酵食品摂取のアドバイスをします。



栄養士

トイレへの移動助助や、排便姿勢の支持、筋力維持のリハビリ、排便体操^{*}、マッサージなどに取り組みます。

※「排便体操」の情報はこちら



軟便モレ解決のアプローチ②「軟便をモラさない設計のおむつ」

2000枚以上のおむつを検証して誕生！ 軟便モレをブロックするおむつ

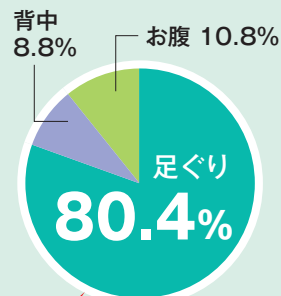
開発者に
聞きました！



ユニ・チャーム(株)
グローバル開発本部
宮崎 泰一

足ぐりからのモレを防ぎ、
軟便を「ためて」「とめる」おむつを開発！

軟便モレは、交換の手間や汚れ物の処理など、介護者の負担が非常に大きく、利用者様にとってのもつらい状況となります。「これは何とかしなければ!」と、介護現場に通い、装着時の手技やおむつと体の位置関係、ギャザーの状態などをつぶさに検証。さらに、便性状や薬歴、食事内容まで細かくリサーチしました。結果、調査前に多かった「背モレする」との声に反して、実際は**8割以上が足ぐりからのモレ**だとわかったのです。そうして軟便がモレル真の原因をつきとめ、軟便をきちんと「ためて、とめる」新製品が誕生しました。この新しい「横モレ安心テープ止め」で、排泄ケア業務の負担が軽減され、ご利用者様がより快適に過ごせることを願っています。



ユニ・チャーム調べ

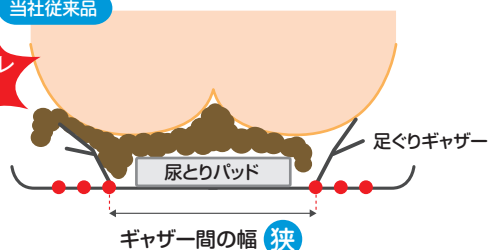
軟便モレの
8割以上が
「足ぐり」から!

軟便がモレル
原因①

便の収容量の
限界をオーバー

当社従来品

あふれモレ
発生!



だから ▼

便の収容空間を**2倍**に!

*当社従来品比



便がたまっている様子

動画はこちら



軟便キャッチポケット

でためる!

軟便がモレル
原因②

ギャザー倒れて
隙間が発生

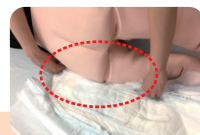
当社従来品

隙間モレ
発生!



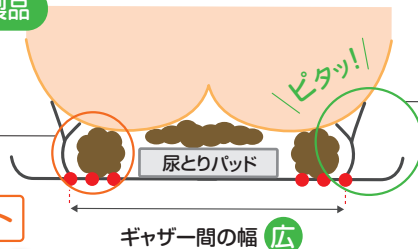
だから ▼

ギャザー倒れを**低減**!



臀部でギャザーを
押しつぶして、
ギャザー倒れに!

新製品



3重ぴったり
フィットギャザー

でとめる!

動画はこちら



便の収容量
倍増!

2倍

100
とすると

当社従来品

222

新製品

Data: ユニ・チャーム調べ
※横向き寝姿勢でのドール試験

便の横モレ率
半減!

1/2

100
とすると

当社従来品

47

新製品

Data: ユニ・チャーム調べ
※施設での装着テストの結果

ワンポイント
アドバイス

ギャザーに尿とりパッドがかぶると、軟便モレの原因に! 新製品は、ギャザー間が広がり、大判の尿とりパッドもらくらくセット。さらに見やすくギャザーの一部を青く色づけしました。



新改良! 横モレ安心テープ止め

ライフリー史上最高の便モレブロック率!

軟便キャッチポケット&3重ぴったりフィットギャザーでモレを徹底的にブロックします。

足ぐりモレを徹底ブロック

新改良!

足ぐり軟便キャッチポケット

特許技術※1

パッドを越えて足ぐりからモレる便を留めるので、外モレしやすい泥状便や水様便が出てモレ安心。

※1: 吸収体より外側に立体ギャザーの起立支点があり、背側のウエスト伸縮部材と折り目が重ならない構成

新改良!

3重ぴったりフィットギャザー

特許技術※2

ギャザー倒れが発生しにくくしっかり立ちあがるので、足ぐりにぴったりフィット。隙間モレを低減。

※2: 外側ギャザーの固定長さは、内側ギャザーの固定長さより長く、かつフラップの長さの半分以上である構成

背中モレを徹底ブロック

新改良!

背中軟便キャッチポケット&背モレ防止ギャザー

特許技術※3

尿・便をせき止める空間アップ。背中にしっかりフィットして背モレを防ぐ。

※3: 吸収体と背側ギャザーの間の領域に、立体ギャザーの起立端部と係合部の長手方向中心とが位置している構成

全面
通気性

消臭
ポリマー

*アンモニアについての
消臭効果がみられます

抗菌
ポリマー

Voice

～ご使用いただいたお客さまの声～

泥状便でもギャザー部分からモレることなく、止まっていました。



ギャザー部分がしっかりしていて、ゆるい便でもモレが少ないです。



ズボンの汚染が減りました。



パッドの収まりがよくなりました。



ギャザーの色を変えている工夫で、わかりやすく使いやすいです。



詳しい製品紹介は
こちら!



	適応サイズ(ヒップ)	バックシートカラー
Sサイズ	56～90cm	橙
Mサイズ	67～106cm	青
Lサイズ	81～128cm	緑
LLサイズ	81～141cm	紫

お問い合わせは弊社社員、
または下記にお願い申し上げます。

〒108-8575 東京都港区三田3-5-27

住友不動産三田ツインビル西館

ユニ・チャーム株式会社

TEL. 03-6722-1009 FAX. 03-6722-1010

ライフリー(病院、施設向け)
<http://jp.lifree.com/ja/procare/>



排泄ケアナビ
<http://www.carenavi.jp/>



2021年6月発行